

平成30年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月12日実施)	総合評価 (3月29日実施)		
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等	
1	教育課程 学習指導	<p>①生徒一人ひとりの確かな学力の育成と進路希望の実現に向け、学年制普通科としての教育課程の整備に取り組む。</p> <p>②生徒の課題発見・解決力及び、主体的に学ぶ意欲を高めることを目指し、組織的な授業改善に取り組む。</p>	<p>①学力の向上と進路希望の実現に向けた教育課程を編成し、生徒の学習意欲や探求心を高める環境を提供する。</p> <p>②授業改善を進め、基礎学力の定着と主体的な学習の取組を支援する。</p>	<p>①(1)教育課程の変更に伴い、生徒の適切な科目選択を支援するとともに、学力向上のための授業時間確保を図る。また、次期学習指導要領の理解を深める。</p> <p>(2)カリキュラム検討会において「高大接続テスト」の導入に向けた研究を進め、それに向けた授業改善を図る。</p> <p>②(1)授業開始の挨拶を励行し、チャイムと同時に集中した授業を開始する。</p> <p>(2)教員相互の授業参観・研修会の実施と「生徒による授業評価」の有効活用を進める。</p> <p>(3)日常的に自宅学習課題を配付するとともに、「定期テスト前のフォローアップ週間」「夏期講習」を計画的に実施する。</p>	<p>①(1)授業時間が確保され、生徒の学力・学習意欲の向上が見られたか。また、選択科目の説明会を計画的かつ効果的に実施できたか。(「学校に関するアンケート(以下『アンケート』と以下)生徒満足度50%以上)</p> <p>(2)「高大接続テスト」の研修や対策の為の体制ができたか。</p> <p>②(1)始業時の挨拶が定着し、授業中の集中力が高まったか。</p> <p>(2)授業改善を積極的に進めることができたか。</p> <p>(3)学習習慣が身に付き積極的に学ぶ生徒が増加したか。(「生徒による授業評価」の有効活用ができたか。(満足度80%以上))</p>	<p>①(1)進路実現のための科目選択を適切に指導できた。</p> <p>(2)「大学入学共通テスト」の概要を各教科に周知しそれに向けて職員の研修会も行い課題を共有することができた。</p> <p>②(1)生徒が授業への準備、開始を意識することにより授業への集中力が高まった。</p> <p>(2)「授業改善研究授業」に他校の職員にも参加を求め全職員で積極的に取り組み研修会では活発な意見交換が行われた。</p> <p>(3)『授業評価』では1回目より2回目に全ての項目で満足度が伸びた。授業内容の工夫が生徒の取り組みの改善につながった。</p>	<p>①(1)次期教育課程編成に向け検討を引き続き行い、移行をスムーズに行えるように準備する。</p> <p>(2)各教科の対策、授業改善を進める。</p> <p>②(1)生徒に自主的な時間管理の意識付けを促す。</p> <p>(2)「授業改善研究授業」の成果をさらなる授業改善につなげる。</p> <p>(3)「生徒による授業評価」の今年度の結果を踏まえ、さらに生徒の状況を把握しながらより満足度の高い授業を目指す。また、各授業で自宅学習の習慣化を促す。</p>	<p>①(1)大学入試の変更にも対応した教育課程編成を行い、満足度の高い授業をさらに進めてほしい。</p> <p>(2)大学入試に向けて、さらに各教科の授業改善に取り組んでほしい。</p> <p>②(1)始業時の準備や挨拶は引き続き取り組ませてほしい。</p> <p>(2)授業研究に積極的な取り組みが見られる。</p> <p>(3)生徒の授業評価も高く、教員と生徒の信頼関係がうかがえる。</p>	<p>①満足度・効果について一定の成果が見られた。また、新たな教育課程・大学入試に向けた研究を進めることができた。</p> <p>②授業改善、授業評価では、昨年度より進展があった。また、授業改善研究授業では、小学校、中学校、他校の教員にも参加を求めた研修会は有意義なものとなり、今後の授業改善につながる検証ができた。また、学力向上のためさらに生徒の自主的な家庭学習を促す必要がある。</p>	<p>①次期学習指導要領実施に向け、学力向上と進路実現に向けたカリキュラムについて専ら検討するための会議を定期的に行い、研究を進める。</p> <p>②授業改善については指導法にとどまらず、生徒の学びにも視点を向けながら、基礎学力の定着に取り組み、さらに発展的な力を伸ばすための具体的な方法を示しながら生徒を育成する。</p>
2	生徒指導・ 支援	<p>①生徒の豊かな人間性・社会性を培うために、規範意識を育成するとともに、社会の一員として自分を尊重し、自身の将来像を描く力を育てる。</p> <p>②生活全般の安全意識の向上に向けた取組みを進め様々な課題に対し、解決に向け取り組む意志や実践していく力を育てる。</p> <p>③各種機関・保護者と連携しながら生徒理解を深め、教育相談・支援体制の充実を図る。</p>	<p>①生徒一人ひとりの豊かな心を育み、規範意識・自己教育力を育てる。</p> <p>②登下校の安全意識・交通安全意識の向上を図る。</p> <p>③個に応じた支援・相談体制を充実させる。</p> <p>(2)十分な生徒相談・教育支援を行えたか。(『アンケート』生徒満足度50%以上)</p>	<p>①(1)学校行事の将来像を再構築するとともに、部活動の充実をはかる。</p> <p>(2)時間管理の意識を高め、遅刻指導や部活動終了後の下校指導を徹底する。</p> <p>(3)挨拶に対する意識の向上をはかり、お互いや来校者への挨拶を励行する。</p> <p>②(1)不審者や事故の情報を提供する。</p> <p>(2)通学経路の安全や服装の指導、「交通安全教室」の内容を検討する。</p> <p>③(1)「いじめ防止基本方針」及び「同対策マニュアル」に基づき未然防止に向けた取組を行う。</p> <p>(2)教育相談コーディネーターを中心とした教育相談体制を整備する。</p> <p>(3)スクールカウンセラーや専門機関との連携、各種講演会の開催を通してきめ細かな教育支援を行う。</p>	<p>①(1)学校行事と部活動の達成感と満足感が例年通り、高い水準にあるか。</p> <p>(2)遅刻数が減少し、下校時刻を守ることができたか。</p> <p>(3)校内・校外を問わず積極的にさわやかな挨拶を交わす習慣が身に付いたか。</p> <p>②(1)犯罪被害や交通事故の防止に効果を挙げられたか。(『アンケート』生徒満足度50%以上)</p> <p>(2)いじめ防止に向けた方針及び取組内容が職員に周知され組織的にいじめに対応できたか。(『アンケート』生徒満足度50%以上)</p> <p>③十分な生徒相談・教育支援を行えたか。(『アンケート』生徒満足度50%以上)</p>	<p>①(1)学校行事と部活動の達成感と満足感が例年通り、高い水準であった。</p> <p>(2)部活動終了後の下校指導を徹底することができた。</p> <p>(3)挨拶の励行、犯罪被害・交通事故の防止を全校集会、学年集会、HRなどで呼びかけ、意識の向上に努めた。</p> <p>③「いじめに関する調査」の実施に加え、面談週間やLHRなどでも面談を行い生徒が安心して過ごせる環境づくりといじめの未然防止に努めた。</p> <p>また、スクールカウンセラーと連携し、個に応じた支援をきめ細やかに行った。</p>	<p>①(1)学校行事の将来像を確かなものとする。また、さらなる部活動の充実をはかる。</p> <p>引き続き部活動終了後の下校時刻が守られるよう指導を継続する。</p> <p>②自転車マナーを中心に、交通安全意識のさらなる向上をめざす。</p> <p>③個に応じた支援をさらに充実させるため、教育相談コーディネーターを中心としスクールカウンセラーや専門機関との連携を積極的に行うほか、職員全体でも情報の共有に努める。</p>	<p>①(1)学校行事と部活動の満足度の高いことは評価できる。</p> <p>②自転車の乗り方、バス乗車のマナーの改善が感じられる。さらに安全行動意識を高めてほしい。</p> <p>女子生徒のスカートが短かいのは対性犯罪につながる恐れがある。</p> <p>③いじめが少ないことは評価できる。さらに個に応じた支援を進めてほしい。</p>	<p>①学校行事・部活動の意義を考えさせ、生徒の成長を促すことができた。校内美化の意識の向上と指導ができた。制服の上着着用、下校時刻の徹底ができた。ただし、遅刻指導の充実が必要である。</p> <p>②地域からの自転車マナーに対する情報提供が少なくなった。</p> <p>いじめアンケートにより実態を把握できた。</p> <p>③教育相談では、S・C、SSWとの連携を生かすことができた。今後、養護教諭とも連携した教育相談支援体制の整備が必要である。</p>	<p>①部活動・行事を充実させ入部率の増加を目指す。</p> <p>②通学経路の安全や服装・身なりの指導、「交通安全教室」の内容を検討する。いじめの未然防止を図る。</p> <p>③教育相談コーディネーター、養護教諭、生活指導Gが連携した教育相談体制を整備する。</p>
3	進路指導・ 支援	<p>生徒一人ひとりが自己の生き方、あり方についてとらえるこ</p>	<p>①全教科で取り組むキャリア教育実践プログラムを実</p>	<p>①キャリア教育において身につけるべき諸能力を育成することを意識した教育活動の展開に努める。</p>	<p>①教育活動の様々な場面で社会生活・職業生活に必要な技術・技能を育成できたか。(『アン</p>	<p>①総合的な学習の時間や教育活動を通して、社会生活・職業生活に必要な知識等を身に</p>	<p>①生徒の進路実現に向けて、きめ細かな指導を継続する。</p>	<p>①キャリア教育の取組として、さらにきめ細かな指導を続けてほしい。</p>	<p>①教育活動全体を通して、生き方、あり方について考え、職業観や</p>	<p>①必要に応じて改善しながら、きめ細かな指導・支援を継続する。</p>

		とができるよう、計画的・継続的なキャリア教育を推進する。	<p>①実施、検証していく。</p> <p>②職業観・勤労観を育てる。</p> <p>③より一層の進路実績の向上を図る。</p>	<p>②自己の適性や学びの必要性を認識させ、自己の進路実現に向けて、各学年に対応した進路ガイダンスの充実を図る。</p> <p>③生徒の進路実現に向けて、スタディサポートの指標を生かしながら、各教科により自宅で取り組む課題を配付して学習習慣の定着を図る。</p>	<p>ケート』生徒満足度 50%以上)</p> <p>②生徒が自己の生き方やあり方について考えるのに有効な機会を十分与えられたか。</p> <p>③(1) 生徒が自らの課題を学習につなげ、進路希望実現に向けた主体的な学習活動に取り組めたか。</p> <p>(2) 自宅学習を継続して行う習慣が身に付いたか。</p>	<p>付ける取り組みができた。</p> <p>②各種ガイダンスや体験授業等の実施により、望ましい職業観・勤労観を育成し、進路を具体的に考えるための意識づけができた。</p> <p>③スタディサポートの指標をもとにタイプ別の講演会等を実施し、必要な学習内容を具体的に示し、主体的に取り組めるよう促した。</p>	<p>②進路について具体的に与えられることができるよう、事前学習を充実させ、各種ガイダンスや体験授業等が実践的に生かせるように計画する。</p> <p>③意識的に取り組める生徒もいるが、全体としては実践できていない生徒も見え、引き続き自主的に学ぶ態度をはぐくむ必要がある。</p>	<p>A I 時代に対応できる人間性を鍛える教育と、成人年齢引き下げに対応した消費者教育が必要。</p> <p>②各種ガイダンスを充実させ、生徒の人生設計や進路実現に役立ててほしい。</p> <p>③なかなか自宅学習が定着しない。課題がもっとあってもよいのではないか。自宅学習の習慣化は家庭環境もあるが、地道な指導を期待したい。</p>	<p>勤労観を高めることができた。</p> <p>②年次に応じ、専門性や具体性をさらに充実させたガイダンスや体験授業等を実施する必要がある。</p> <p>③主体的な学習に取り組む生徒が一部にとどまっている。</p>	<p>自分の将来とのさまざまな関りについて横断的に考えることができる取り組みを深めていく。</p> <p>②生徒に段階的に生き方やあり方について考えさせるキャリア教育を計画的に実施する。</p> <p>③自身の課題を自主的に学習する習慣が身につくように、すき間時間や自由時間の効率的な利用を促していく。</p>
4	地域等との協働	<p>①開かれた学校づくりを進め、家庭や地域と情報を交換する中で、相互理解と協力体制を確立しさらに進展させる。</p> <p>②HPや「お知らせメール」による、タイムリーな情報発信により地域からの理解を得るよう努める。</p>	<p>①学校行事全般を通して地域や保護者との連携を深め、開かれた学校づくりに努める。</p> <p>②学校の情報を確実に発信し、地域や保護者からの意見要望を参考に、より良い学校づくりを行う。</p>	<p>①(1) 学校へ行こう週間、PTA活動、保護者懇談会、学校行事、部活動等を通して、地域・保護者との連携を図る。</p> <p>(2) 授業公開の実施により本校の様子を広報するとともに、授業改善につなげる。</p> <p>(3) 「春一番の音楽会」「遊 i n g 西高」の取り組みを学校全体で支援する。</p> <p>②(1) 生徒・保護者への配付物、HPの頻繁な更新、「西高お知らせメール」などで本校の活動の情報発信を行う。</p> <p>(2) 保護者、地域からの情報や意見を生かし本校の発展に努める。</p>	<p>①(1) 本校の『アンケート』保護者満足度が昨年度を上回ったか。</p> <p>(2) 中学校関係者や教育機関専門家からの評価や助言を授業改善に繋げることができたか。</p> <p>(3) 「春一番の音楽会」「遊 i n g 西高」において、校内生徒・職員のボランティア参加者が増加し、地域参加者や地域支援者の満足度が向上したか。</p> <p>②(1) 本校HP更新回数とアクセス数、および「西高お知らせメール」の登録数が昨年度より上回ったか。</p> <p>(2) 保護者・地域からの情報を生かし改善がなされたか。</p>	<p>①(1) 保護者アンケートについて本年度は見直しを行い実施には至らなかった。</p> <p>(2) 学校公開のときに近隣中学関係者等に声をかけ多数の方が来校され本校の授業に対する助言や意見をいただき、授業改善につなげることができた。</p> <p>(3) 「春一番の音楽会」の来場者は 500 人を超え大盛況であった。「遊 i n g 西高」も参加者が増え充実した 1 日となり地域に対する満足度も向上した。</p> <p>②(1) 学校PRと本校HPの更新を頻繁に行うことでアクセス数が昨年度は 69564 件で今年度は 73094 件とかなり増加した。また「西高お知らせメール」も生徒・保護者に定着し登録数は昨年度を上回った。</p> <p>(2) PTAの協力のもと地域清掃や交通安全登下校指導を行った。</p>	<p>①(2) 学校公開期間の公開授業については中学生や本校保護者だけでなく中学関係者や指導主事の方々にも声をかけ本校の授業改善に役立てたい。</p> <p>(3) 「春一番の音楽会」「遊 i n g 西高」において、地域参加者や支援者の満足度がさらに高まるようにしたい。</p> <p>②(1) HPの更新をさらに頻繁に行い在校生と保護者、中学生地域等にPRしていく。特に部活動についての実績はタイムリーな情報を届ける。「西高お知らせメール」については全員登録を目標とし声かけをしていく。</p> <p>(2) 今後も地域、保護者との協力を推進する。</p>	<p>①(2) 地域やPTAと協働により、さらに開かれた学校づくりを進めてほしい。</p> <p>(3) 「春一番の音楽会」「遊 i n g 西高」は今後も継続を。</p> <p>②(1) HPの更新を頻繁にしてほしい。さらに遊 i n g 西高等のイベントの周知を。</p> <p>(2) 地域との連携、ボランティア参加などを高く評価する。今後も継続を。</p>	<p>①学校行事での地域や保護者とのふれあい、地域の行事等への生徒の参加が評価を得られた。</p> <p>②HPの更新が遅れることがあったが、昨年より頻繁な更新をすることができた。「西高お知らせメール」がしっかりと定着し有効活用できた。</p>	<p>①コミュニティスクールとして、さらに地域・保護者等との連携を学校づくりに生かす。</p> <p>②定期的かつタイムリーなHPでの情報発信、更新に努める。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①事故防止の徹底を図るとともに、教職員が前向きに課題に取り組む学校文化を形成する。</p> <p>②生徒の防災意識を高め、安全対策を強化する。</p> <p>③耐震化工事を計画的に進めるとともに、事故防止に努める。</p>	<p>①各種校内研修(OJT)、事故防止会議を充実させる。</p> <p>②生徒の防災意識を高める。</p> <p>③耐震化工事を関係機関と十分な連絡調整を行い、安全に推進する。</p>	<p>①各種校内研修及び事故防止会議において事故防止に向けた意識の向上・啓発を図り、教職員が前向きに課題に取り組む。</p> <p>②目的を明確にした防災訓練を実施し、生徒及び職員の動きを確認するとともに、より実践的な防災意識を高める。</p> <p>③西棟の耐震化工事を安全に推進する。仮設校舎から西棟への移転を計画的に進める。</p>	<p>①各種校内研修 5 回及び事故防止会議 10 回以上を実施する。</p> <p>②計画通りに防災訓練を実施することができ、生徒及び職員の防災意識は高まったか。また、災害発生時想定される状況に対応できる知識や技術が身に付いたか。</p> <p>③関係機関と連携しながら、校内移転及び耐震化工事が計画的かつ安全に実施できたか。</p>	<p>①5回の校内研修と 11 回の事故防止会議を実施し、職員の資質向上につながった。</p> <p>②5月に避難訓練、9月に藤沢消防署協力を得て避難訓練、消火訓練、降下訓練等を実施し、防災意識が高まった。</p> <p>③仮設校舎の取り壊しが安全に実施された。また、グラウンド工事が順調に進行している。</p>	<p>①今後も研修を実施し、職員の資質向上に努める。</p> <p>②今後は地域との連携を進める。</p> <p>③グラウンド工事を安全に進行させる。また、来年度は体育館の耐震化工事があり、関係機関と協力し計画的かつ安全に進行する。</p>	<p>①先生方の資質向上に努め、生徒との信頼関係をさらに構築してほしい。</p> <p>②校舎も完成し、防災に関してはますますの地域との連携を期待する。</p> <p>③耐震化工事を引き続き安全に進めてほしい。生徒が自分たちの学校を大切に使うという意識を持たせてほしい。</p>	<p>①事故防止研修を計画通り実施し、職員の意識の向上・啓発を図った。</p> <p>②防災訓練の内容を発展させ、防災意識を高めることができた。地域との連携が課題。</p> <p>③工事での連絡調整に努めた。</p>	<p>①職員研修による事故防止に努める。</p> <p>②地域と連携した防災教育の実施。</p> <p>③今後の体育館工事に向け、生徒の避難経路等、安全確保に努める。</p>